様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　９月２９日

福井県知事　殿

提出者

住所　　福井県鯖江市鳥羽町２２号５２番地

氏名　　株式会社　清 水 組
代表取締役　清水 道浩

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 ０７７８－５２－１９７０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事　業　場　の　名　称	株式会社　清 水 組
事　業　場　の　所　在　地	福井県鯖江市鳥羽町２２号５２番地
計　画　期　間	令和　７年　４月　１日　～　令和　８年　３月３１日

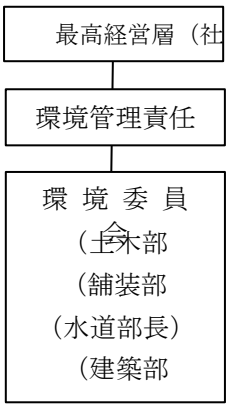
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事　業　の　種　類	Ｄ０６（総合工事業）
②事　業　の　規　模	金２，０４２，９９７千円（元請完成工事高（前年度実績））
③従　業　員　数	７１人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類　自ら中間処理（再生後は原材料として再資源化） 木くず　　処理業者へ委託（再生後は材料として再資源化）

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
○ 環境委員会を設置
事業上における環境改善（廃棄物を含む）の計画・実行を検討する。
・最高経営層（社長）
・環境管理責任者：処理計画等を総括管理
環境委員会
・各部門長：マニフェストの交付管理



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	2718.2 t	16.5 t

（これまでに実施した取組）

過剰な産業廃棄物の排出を防止するために、処理施設と排出工程を協議し、計画的に排出した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	2000 t	15 t

（今後実施する予定の取組）

分別解体を遵守し、出来る限り混載での排出はしない。
再生できる廃棄物は再利用し、無駄な排出を抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

がれき類をアスファルト塊とコンクリート塊に分別し、処理施設で適切に再生利用できるように排出している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後も分別解体を実行し、法規則を順守し、事業を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	—
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2718.2 t	— t

（これまでに実施した取組）

がれき類をアスファルト塊とコンクリート塊に分別し、アスファルトは再生合材に利用し、コンクリートは再生路盤材として利用した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	—
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2000 t	— t

（今後実施する予定の取組）

中間処理施設が用途に応じて処理できるように、今後も分別排出を実施する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t

（これまでに実施した取組）

—

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t

（今後実施する予定の取組）

—

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　６　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　６　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	―
	全処理委託量	16.5 t	― t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	― t
	再生利用業者への処理委託量	16.5 t	― t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	― t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	― t
	（これまでに実施した取組） 出来る限り再生利用（リサイクル）業者を選定する。		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>―</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量</td><td>15 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>15 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

出来る限り優良な処理業者を選定し、計画的な廃棄物の排出を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。